

## 新型コロナウイルス感染予防対策 講座

### 富良野発 「コロナウイルスに負けない、おうち体操」

先週の暑さは大変なものでしたが、この日曜日の寒さも大変でした。気温差が20度以上あったのではないのでしょうか。雨と風で外仕事はできませんでしたので、身体を休めるには良い週末だったのかも知れませんが、それでも変化が大きすぎます。



ことぶき大学の皆さんにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今回は、富良野市社会福祉協議会主任の柘竹文浩様を講師にお招きして『富良野発「コロナウイルスに負けない、おうち体操」』をテーマに講座を開きました。

1：感染拡大を防ぐためのポイント 2：体操など身体を動かす時の注意 3：食べたり、飲んだりする時 この3つ留意点を中心にお話しをしていただきながら無理のない範囲で継続できる「おうちでもできる体操」を紹介していただき実践しました。



当日は、気温も高く、中会議室ということで会場もいつもより狭く、マスク着用もあって少々大変だったのかも知れません。

講師の柘竹さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。なお、第2回目は、9月30日（水）に実施予定です。

コロナに負けない力、それには正しい知識のもとでの感染予防対策が必要となるのです。正しくウイルスの怖さを知ること、未知なる不安が解消できるということです。模範体操では、本科4年の犬上さんにもお手伝いいただきました。ありがとうございました。次回もしっかりと学習しましょう。

## Today's Schedule

**令和2年9月2日（水曜日）**

※雨天時：生涯学習センター多目的室  
インドアPG・博物館見学等

8時40分◇集合 連絡、インターンシップ紹介

8時50分◇文化会館発（集合次第出発）

（9時00分◇東山支所発）

9時20分◇山部太陽の里パークゴルフ場着

9時40分◇開会式 競技開始

11時40分◇競技終了 閉会式

12時00分◇現地発

（12時20分◇東山支所着 解散）

12時30分◇文化会館 解散

○各学年に参加者名簿を配布してありますのでご確認ください。

○プレイは2時間の時間制限で行います。

○プレイ中はマスクは外してもオッケーです。  
プレイ以外ではマスク着用をお願いします。

○バスは2台準備します。（別途東山）

**3号車 42人乗 パークゴルフ組（21名）**

内訳：バス18、自家用1（伊藤）、東山2  
（上用、インターンシップ）

**4号車 29人乗 散歩・応援組（9名）**

○救急車で公用車（藤野）

三密やマスク着用、チーム編成などを考えると本来での二校交流会にはなりません、間接的な交流を図りつつ、山部校の皆さんと共にリフレッシュした時間にしましょう！！

## NEXT SCHEDULE

令和2年9月16日（水曜日）

### 自治会から

来週の遠足のお弁当の**最終集約日**です。

各学年に配布しました用紙に人数を記入して自治会会計にお渡しください。

- 8時45分 本科4年大学院1年生当番  
9時15分 朝の集い 校歌視聴  
各クラブ学習の準備（除菌）  
10時00分 クラブ学習  
12時00分 昼休み・休憩  
13時00分 「コーラス①」「踊り①」  
**コーラスは大ホールです。**  
**踊りも大会議室をいっぱい使って**  
**ソーシャルディスタンス**  
14時10分 音楽鑑賞（DVD）  
フジコヘミングの世界  
ショパン「ノクターン」他  
15時00分 後片付け 終了

### ◎クラブ学習についての連絡

学習場所は、昨年度と同様です。

書道クラブ（大会議室）

切り絵クラブ（第1会議室）

絵手紙クラブ（中会議室）

茶道クラブ（和室B）

陶芸クラブ（ふれあいセンター）

★各使用教室一杯に使用し、隣り同士、前後の間隔を開け、ソーシャルディスタンスを守ってください。

★切り絵クラブと絵手紙クラブにつきましては、事務局で設定させていただきましたが、消毒を含め、各クラブの皆さん全員で講師の先生が来られる前に準備をお願いします。

また、三密を避ける上でも全体での紹介はしませんので、各クラブごとで講師の先生との紹介をしてください。事務局では、陶芸クラブから各クラブへ訪問します。

### ◎「コーラス」「踊り」も第1回目です。

どちらも、講師の先生の指示や注意事項を守り、無理のないところでスタートしましょう。

## 源氏物語 = 平安時代の世界に触れる

今回は、源氏物語その2として、平安時代について学習しました。いろいろな動画を用意しての学習でしたが、いかがでしたか。

その中で、「平安仮名文字」が生まれたお陰で、女性が自由に感情表現ができるようになったことをお話しました。

また、当たり前人間が交わす会話ということでも、どんな言葉、発音で会話がなされたのかと思うと、その会話を記録するものもなかったのですから再現することは難しいということです。

人類がどんな形で会話を交わすようになったのか、日本のみならず、世界の国々での会話の発祥を考えてみると不思議でなりません。

そこで、「言語の起源」をネットで検索をしてみました。これは深入りしても無駄だということがわかりました。いろいろな説があるようですが…どれも滑稽！？にしか思えないような気がしています……

ただ、私たちにとって身近なアイヌ語やアイヌ文化について学ぶことの方が、より言語の起源について何か知り得る予感がする。そんな感じです。

とはいえ、この源氏物語を通して、自分の心や気持ちを歌（和歌）にして相手に伝えたということです。

この源氏物語の中には、795首の和歌があるということですが、



紫式部



光源氏

その中でも代表的な場面を色濃く表した有名な作品があるということですので、一つだけご紹介いたします。

### ♥ 光源氏が若紫(紫の上)に出会ったときに贈った恋文

「面影は 身をも離れず 山桜 心の限り とめて来しかど

夜の間の風も うしろめたくなむ」



山桜のようなあなたの美しい面影が私の身から離れません。私の心の全てを置いて留めてきたのですが、夜風にて花が散るのではと心配になります」

これは、源氏物語第5帖での「若紫(わかむらさき)」で歌われたものです。光源氏が病にかかり、北山のお寺に治療に行く…そこで若紫(8歳位とか後の正妻紫の上)と出会ったときに贈った歌ということです。

ふみで気持ちを伝える時代、どう今の気持ちを伝えるのか、人間性や知性や美、そして情景をとりいれながら文字で伝える…「いとあはれなり」というところでしょうか…

せめて、今の時代、携帯のメールも少しは気の利いたことばや相手への思いやりが込められた一言がほしいものですし、せっかく大切な言葉を持っているのですから、もっともっと美しい言葉を使って、相手を思いやる表現で、大切な隣人に自分の気持ちを伝えるべきだと感じています。

さて、次回の進め方については、もう一度考えてから皆さんに連絡することにします。ご期待ください。

追伸:光源氏が何故、病で北山のお寺にいったのか、それは六条御息所の呪いから逃れるためだったということです。嫉妬のため夕顔を呪い殺したとい六条御息所、映画では竹下景子が演じたのを皆さんご存知でしたか…私は、知りませんでした。



## 旧麓郷中学校校舎

麓郷の私の住宅前の道路を挟んで、斜め向かいに旧麓郷中学校の校舎があります。

かつて、校舎の横には、教員住宅があり、結構大きな池もありました。

そこには、ボートがあり、魚もザリガニもたくさんいたようです。学校にはプールもありました。ドラマ「北の国から」では、野球部の活動も撮影されました。

平成25年に現在の小学校の校舎に移りました。あれから7年が経ちました。

たまに休日の早朝にカメラを持って旧校舎に行くのですが、久しぶりに8月17日の午後5時過ぎ(こんな時間ははじめてです)ぶらりと学校に行きました。

校舎の周り一面にレースフラワーが咲き乱れていて、夕日でセピア色に染まって…レトロ風になっていました。まるで昔のアルバムを見ているようでした。

「行く川の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたはかつ消え、かつ結びて久しくとどまることなし。世の中にある人とすみかと。またかくの如し」…「方丈記」を思い出しました。形あるものはいつか崩れる…すべてのものは常に変化している。移ろいいくものへの尊さや美しさ、人の命には限りがあるからこそ美しいのだということでしょうか。

永遠の美を追求するということではない、限りある美だからこそ感動があるのです。

平安時代から鎌倉・室町時代と枕草子・方丈記・徒然草、三大随筆と呼ばれる作品にも触れてみたいですね…源氏物語を学ぶことによって「美」「命」「自然」「心」を学ぶのですね。

